

支援状況

令和元年11月25日現在

職員派遣支援

作業内容	派遣人数	派遣期間	派遣先
TEC-FORCE（被災状況調査班：道路第1陣）	5人	10月15日～21日	宮城県丸森町
TEC-FORCE（被災状況調査班：道路第2陣）	5人	10月25日～30日	宮城県角田市
TEC-FORCE（応急対策班：路面清掃車等第1陣）	1人	10月16日～21日	福島県二本松市、郡山市、本宮市
TEC-FORCE（応急対策班：路面清掃車等第2陣）	1人	10月21日～26日	宮城県多賀城市、角田市、大崎市、丸森町、村田町、柴田町、福島県相馬市
TEC-FORCE（応急対策班：路面清掃車等第3陣）	3人	10月25日～11月1日	福島県二本松市、郡山市、須賀川市

機械等資機材貸出支援

貸出機材名称	貸出台数	派遣期間	貸出先
排水ポンプ車（第1陣）	1台	10月14日～20日	福島県須賀川市
排水ポンプ車（第2陣）		10月18日～28日	宮城県伊達市
路面清掃車（路面清掃等第1陣）	1台	10月16日～31日	福島県相馬市、宮城県角田市、丸森町
路面清掃車（路面清掃等第2陣）		10月29日～11月3日	宮城県丸森町
側溝清掃車（路面清掃等第1陣、第2陣）	1台	10月16日～30日	宮城県丸森町
散水車（給水支援第1陣）	1台	10月17日～25日	宮城県丸森町
散水車（給水支援第2陣）		10月23日～11月1日	宮城県丸森町
散水車（給水支援第3陣）		10月30日～11月8日	宮城県丸森町

小樽開建が台風第19号被災地にTEC-FORCE派遣

shiriBeshi 国土交通省北海道開発局
「世界の後志」を目指して 小樽開発建設部

被災状況調査班(道路)

R1.10.15~21, 25~30



地理院地図



住民からの情報は重要です。
元の状況を推測し、被災規模を計測します。



小樽開発建設部から派遣した被災状況調査班(道路)は、宮城県丸森町・角田市で被災状況を調査しました。
豪雨と河川の氾濫によって被災した道路、橋などの被害を調査し、自治体へ渡す被災報告書にまとめます。



北海道各地や、中部、近畿、中国、四国の地方整備局から集まった仲間のTEC-FORCE隊員と東北地方全体の被災状況の概要確認。



住民にとって、道路が流されたことは、生活を支えるライフラインが根こそぎ無くなることを意味します。



他の地方整備局と一緒に状況調査報告。市長へ直接手交しました。

小樽開建が台風第19号被災地にTEC-FORCE派遣

応急対策班(路面清掃等)

R1.10.16~11.1



《宮城県》
多賀城市、角田市、丸森町、
村田町、柴田町、大崎市

《福島県》
二本松市、郡山市、本宮市、
相馬市、須賀川市



自治体と定期的に打ち合わせを行い、オペレータに伝達します。

自治体の要望に応えるよう、北海道各地や近畿地方整備局などから集まった道路清掃車を送り出します。道路が安全に使えることは物資輸送ルートの確保に不可欠です。



台風がもたらした豪雨災害による被災から道路の安全を確保し、復興の促進を支援します。



作業を終え、清掃を行った自治体の一つである、郡山市長へ手交後の記念撮影。

小樽開建が台風第19号被災地にTEC-FORCE派遣

shiriBeshi 国土交通省北海道開発局
「世界の後志」を目指して 小樽開発建設部

応急対策班(散水車)

R1.10.17~11.8



地理院地図



宮城県丸森町には、給水支援の要請を受け宮城県内のほか全国から関係機関が集まっていました。最重要ライフラインである水道が復旧するまで、関係機関で手分けをして住民などへの給水支援に携わります。



小樽開発建設部から派遣された散水車(給水装置付)は、丸森町内の病院やケアセンター等の医療施設や移動困難者が多い施設への給水に毎日携わっていました。給水支援は、丸森町で水道が復旧するまで継続していました。

小樽開建が台風第19号被災地にTEC-FORCE派遣

shiriBeshi 国土交通省北海道開発局
「世界の後志」を目指して 小樽開発建設部

応急対策班 (路面清掃車・側溝清掃車)

R1.10.16~11.4



地理院地図

TEC職員が自治体と調整した作業指示を各オペレータに伝達します。



台風がもたらした災害は道路や市街地を浸水させました。浸水の後には汚泥が残り、復旧復興の妨げになります。これらは早急な除去が必要です。



汚泥などの処理に道路清掃車・側溝清掃車を何度も送り出し、道路などが安全に使えるようにしました。悪臭を伴う汚泥がなくなれば日常生活へ戻り易くなります。

吸い上げた汚泥は一か所に集積します。これを繰り返し、復興促進のお手伝いです。

小樽開建が台風第19号被災地にTEC-FORCE派遣

shiriBeshi 国土交通省北海道開発局
「世界の後志」を目指して 小樽開発建設部

応急対策班(排水ポンプ車)

R1.10.14~11.8

地理院地図

福島県
須賀川市



TEC職員が自治体と調整した作業指示を各オペレータに伝達します。

北海道各地等から参集した排水ポンプ車9台(写真は5台)を集結させ、集中して排水作業を行いました。



次の洪水に備え、溜められる容量を増やすため、阿賀野川から一時的に浜尾遊水地に溜めた水を下流の状況を考慮しながら安全に川に戻します。



照明を投光し、排水作業は夜間も通じて続けられました。

